

事務事業名	40347 歩行者自転車道路整備事業													
担当組織	都市整備部					道路河川課					担当	道路改良担当		
組織コード	R2	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	02	03	02	01	記入日	令和元年 5月22日
	R1	20	09	00		R1	01	08	02	03	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち									● 対象 ○ 対象外		
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間	平成25年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	道路法 道路構造令 道路橋示方書 埼玉県福祉のまちづくり条例					関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画 戸田市歩行者自転車道路網整備計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	市民、通行者及び沿道利用者												
事業目的	歩行者と自転車に関連する交通事故の発生割合が増加している傾向にあることから、安全な歩行空間の確保を第一義とした道路空間の再配分を行い、自転車レーンの整備と歩行者・自転車・自動車の3者それぞれの安全性と円滑性を高める。												
事業内容	歩行者自転車道路網整備計画の推進、道路空間再配分の検討、歩行者・自転車・自動車走行空間設計及び工事、自転車走行空間を明示する路面標示の実施												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
	事業費		0	209,515	69,251	55,985	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	41,500	4,843	4,066	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	117,100	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	0	50,915	64,408	51,919	0	
	人件費		0	0	4,503.18	4,503.18	0	
	投入 人員	常勤職員	0人	0人	0.66人	0.66人	0人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		0	209,515	73,754	60,488	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動	①	m	歩行者と自転車の通行箇所分離工事実施総延長		7,060	8,880	
						7,350		-
	成果	①	%	整備延長/総延長(28.7km)		24.5	30.9	
						25.6		-
							-	
目標達成 状況 の分析		A：活動・成果ともに達成した。 <判断理由> 「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」に基づき、自転車通行空間の整備を計画どおり進めている。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	B	B	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	B	B	－	<判断理由>

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし。
見直しの効果	特になし。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 市民の安全第一と快適な通行空間を確保するために「戸田市歩行者自転車道路網整備計画」が平成25年4月より施行されている。 この計画では、歩行者・自転車・自動車及安全で安心して通行できる道路網の実現に向けて、利用者が混在している道路の空間再配分を行い危険個所の解消を目指している。今後も計画路線を継続して整備することから「現状で継続」とする。
今後の取組方針	戸田市歩行者自転車道路網整備計画に基づき、自転車通行空間の整備を順調に進めているが、更なる事業効果が高めるため、計画の見直しを検討するとともに国道や県道の整備を要望し、自転車通行空間のネットワーク化の推進を図る。

事務事業名	7154 街路事務費													
担当組織	都市整備部					道路河川課					担当	道路改良担当		
組織コード	R2	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	04	02	01	01	記入日	令和元年 5月22日
	R1	20	09	00		R1	01	08	04	02	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	03 道路	
施策	54 道路網の整備・充実	
事業期間	平成18年度～令和2年度	
根拠法令 通達等		関連計画 施政方針
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	執行額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	計画額(千円)	
事業内容	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金	旅費、需用費、役務費、賃借料、負担金		
事業費	0	2,187	2,226	2,226	0	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	0	2,187	2,226	2,226	0
人件費	0	0	682.3	682.3	0	
投入人員	常勤職員	0人	0人	0.1人	0.1人	
	非常勤職員	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費	0	2,187	2,908	2,908	0	
目標達成状況	指標名	単位	説明・算定式	H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①					-
	活動②					-
	成果①					-
	成果②					-
目標達成状況の分析	- : 未設定 <判断理由> 街路事務事業全般に亘る庶務的事務であり、事務事業評価にそぐわないため。					

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 街路事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。
今後の取組方針	街路事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。

事務事業名	30225 都市計画道路前谷馬場線整備事業													
担当組織	都市整備部					道路河川課					担当	道路改良担当		
組織コード	R2	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R2	01	08	04	02	02	01	記入日	令和元年 5月21日
	R1	20	09	00		R1	01	08	04	02	02	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標	05	快適で過ごしやすいまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	03	道路											
施策	54	道路網の整備・充実											
事業期間	平成21年度～令和5年度												
根拠法令 通達等	都市計画法第19条、同法第56条、道路法					関連計画 施政方針	戸田市第4次総合振興計画 第2次戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画						
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの												
対象	歩行者や車両などの道路利用者												
事業目的	都市における円滑な交通の確保、豊かな公共空間を備えた良好な市街地の形成を図り、安全で快適な都市生活と機能的な都市活動に寄与することを目的とする。												
事業内容	戸田駅へのアクセス道路として、また市中央部の南北を結ぶ幹線道路として整備を実施する。												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和元年度 執行額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 計画額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	
		事業費		0	173,629	336,140	322,193	0
財源内訳	国庫支出金		0	0	80,838	78,937	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		0	312	0	0	0	
	一般財源		0	173,317	255,302	243,256	0	
	人件費		0	0	13,304.85	13,304.85	0	
投入 人員	常勤職員		0人	0人	1.95人	1.95人	0人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
	事業費+人件費		0	173,629	349,445	335,498	0	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H30目標 H30実績	R1目標 R1実績	R2目標 R2実績
	活動①	物件移転補償調査	筆	用地買収箇所調査		4	4	
	活動②					4		-
	成果①	用地買収面積	m ²	用地取得面積 (全体取得面積4,035m ²)		222.54	87.33	-
	成果②					162.99		-
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 物件移転補償調査については、地権者から事業への理解を得ることができ、目標どおりの調査を実施することができたが、用地買収については、用地交渉が難航し目標に達することができなかった。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	B	B	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	B	B	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	29年度	30年度	1年度	－：未設定
	A	A	－	<判断理由>

4. 令和元年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了 <input type="radio"/> 令和元年度で終了
	<判断理由> 新曽柳原交差点から二枚橋交差点の区間（第一工区）については、用地買収の完了が見込まれたことから、本整備を実施するため事業費及び人員を拡大する。また、戸田駅西口交差点から新曽柳原交差点の区間（第二工区）については、事業認可を取得することにより一層の円滑な事業展開が図れるよう事業費を拡大して継続する。
今後の取組方針	新曽柳原交差点から二枚橋交差点の区間（第一工区）については、電線共同溝整備を含めた本整備を進めていく。また、戸田駅西口交差点から新曽柳原交差点の区間（第二工区）については、事業認可を取得し国庫補助金を活用しながら、計画的に用地買収を進め事業の推進を図る。